

令和6年度岩手大学一般選抜の留意事項等

- 1 **「令和6年度大学入学共通テスト受験票」及び「本学の受験票」**（注：必ず2つの受験票が必要です）は試験期間中必ず携帯し、係員の請求があった場合は、これを提示してください。万が一、共通テストの受験票を紛失した者は、余裕をもって再発行申請し、当日持参できるようにしてください。
- 2 試験場地区及び試験場までの交通アクセスは、「令和6年度一般選抜学生募集要項」の31～33ページで確認してください。
- 3 札幌試験場（TKP 札幌カンファレンスセンター）への照会・連絡は一切行わないでください。
- 4 岩手大学試験場の下見は3月11日（月）としますが、建物の中には入ることはできません。また、札幌試験場は試験当日のみ借用するため、建物外観以外の下見はできません。
- 5 試験場には駐車場がありませんので、**公共の交通機関を利用してください**。また、**保護者用の控室はありません**。
- 6 自然災害、悪天候等により、指示された時刻までに試験場に到着できない場合は、受験票に記載してある緊急時の問い合わせ先まで連絡してください。
- 7 **各自が受験する教科等の試験開始20分前までに**、所定の試験室又は面接控室に集合してください。
なお、各試験場への入場可能時刻は、次のとおりです。

学部	岩手大学試験場	札幌試験場
人文社会科学部	9時～	
教育学部	9時～	
理工学部	8時～	8時30分～
農学部	8時30分～	

- 8 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。
試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長はしません。
農学部の面接は試験開始時刻（9時30分）までに集合した者に限り、受験を認めます。
理工学部の理科終了後引き続き主体性・協働性に関する自己評価を実施します。途中で退出することはできません。
- 9 昼食は各自で用意し、試験室又は受験者控室等で食事をしてください。
- 10 マスクを着用している方は、写真照会、面接時など、試験監督等からマスクを外す指示があった際には従ってください。
- 11 個別学力検査及び小論文について
 - (1) 受験の際、机の上に置けるものは令和6年度大学入学共通テスト受験票、本学の受験票、黒の鉛筆またはシャープペンシル（黒い芯に限る）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）、メガネ、ハンカチ（無地で、試験開始前に試験監督に申し出て許可を得たもの）、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）、目薬です。
これ以外のものは、かばん等にしまって、自分の座席の下に置いてください。
また、腕時計（計時機能だけのもの）の使用は認めますが、腕時計型端末など辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいものについては、監督者の判断により、試験場本部が試験終了まで預かる場合があります。
 - (2) **定規、コンパス、電卓、そろばん等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は使用できません。**試験時間中に、これらを使用すると**不正行為となります**。
不正行為については、「令和6年度一般選抜学生募集要項」の35ページを確認してください。
 - (3) 携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーなどの音の出る機器は、試験開始20分前までに必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。また、時計のアラーム、時報、目覚まし音等の設定についても、試験開始20分前までに必ず解除しておいてください。
 - (4) 答案には必ず本学の受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
 - (5) 試験開始後は試験終了まで退室を認めません。ただし、発病等やむを得ない場合の一時退室は除きます。
 - (6) 答案提出前に離席してはいけません。受験中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
 - (7) 答案は自席で提出してください。